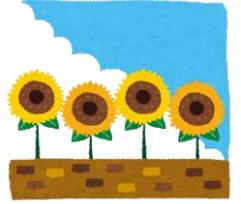




夏に流行する病気



咽頭結膜熱 プール熱

のどの強い痛み、目の充血、4~5日の高熱が主症状です



主要症状が消退した後2日経過したら登園(校)可
治癒まで5日~7日間ほど

ヘルパンギーナ

乳幼児の間で流行する夏風邪の一種で、38~40℃の熱が2~3日続きます。

のどの奥に小さな水ぶくれができて痛いので、食べられなくなります ひどい時は水分も飲めなくなり、脱水症状になることがあります



熱が下がって食事が取れるようになったら登園(校)可
治癒まで4日~5日間ほど

手足口病

手のひら、足の裏、口の中の発疹と水疱を特徴とします。

一般的には、発熱で始まる軽い病気で、ほとんどの人が、1週間から10日程度で自然に治ります。

合併症も、ほとんどありませんが、まれに髄膜炎等の中枢神経症状が発生し、入院が必要となります。



熱が下がって元気になったら登園(校)可
治癒まで2日~3日間ほど

家庭でできること

口の中が痛い時は、しみないものを与えましょう
熱がなく元気ならかまいません

休診のお知らせ

10日(木) ~12日(土)
15日(火) ~16日(水)



虫刺され

夏は皮膚を直接出している面積が多くなります。また活動的になり、虫や蚊のいる場所に出かける機会も多くなります。

虫が多い草むらや山に出かけるときは虫除けスプレーを用意しましょう。あまり蒸れないように、皮膚を覆う服装もいいでしょう。

いったん虫に刺されたら、冷やして皮膚を清潔にすることが大切です。



日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

